

女性日本画家

たちの

戦中・戦後

木下春 小畠鼎子
谷口富美枝 藤田妙子

2025 年

9 月 27 日 | 土 | - 11 月 22 日 | 土 |

開館時間 10:30 ~ 17:00

休館日 日曜日 ただし、9 月 28 日（日）は開館

観覧料 無料

会場 実践女子大学香雪記念資料館
企画展示室 1・2
主催 実践女子大学香雪記念資料館

小畠鼎子《突進》1943（昭和18）年 絹本着色 武蔵野市立吉祥寺美術館蔵

藤田妙子《白芥子》1939（昭和14）年 紙本着色 個人蔵

実践女子大学香雪記念資料館

Kosetsu Memorial Museum Jissen Women's University

女性日本画家

たちの

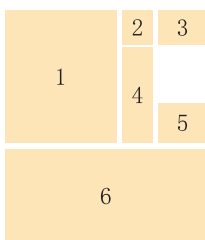
戦中・戦後

木下春 小島鼎子
谷口富美枝 藤田妙子

今回取り上げる木下春（1892-1973）、小島鼎子（1898-1964）、谷口富美枝（1910-2001）、藤田妙子（1916-2001）の4人の間に直接の関係はほとんど無く、年齢も木下、小島と谷口、藤田とは10年以上離れています。木下は前田青邨に師事し、再興日本美術院展に戦後まで出品を続けました。小島と谷口は川端龍子に師事し、龍子が院展を去って1929（昭和4）年に青龍社を立ち上げると、小島は35年間休まず青龍展に出品を続けました。藤田は、青龍社を除名された福田豊四郎が吉岡堅二と1938（昭和13）年に立ち上げた団体、新美術人協会に出品しました。昭和期に入り、日本画表現の革新が次々と求められていましたが、4人もその渦中で探求を続けていました。

木下の《覚山尼》、小島の《突進》の緊迫感、藤田作品の圧倒するような存在感からは、戦時下で描くことの厳しさが伝わり、青龍社を離れた谷口の復古的な小品や能への傾倒からは、戦時体制の中で保とうとした個人の思いが伝わります。

木下や谷口の展覧会出品作の多くは所在不明で、戦後幼児教育に転じた藤田は作品自体が少なく、今回の展示では4人の画業のほんの一部しか示すことができませんが、小島を除けばほとんどの作品が都内初公開となります。ぜひご高覧ください。



1. 藤田妙子《ひまわり》1942（昭和17）年 紙本着色 個人蔵／2. 谷口富美枝《富貴草》昭和時代 絹本着色 個人蔵／3. 谷口富美枝《春野辺》1940（昭和15）年頃 絹本着色 実践女子大学香雪記念資料館蔵／4. 小島鼎子《千鳥》昭和時代 絹本着色 個人蔵／5. 木下春《初茸》昭和時代 紙本着色 松岡山東慶寺蔵／6. 木下春《覚山尼》1942（昭和17）年 紙本着色 松岡山東慶寺蔵

— 関連イベント —

【講演会】

角田知扶 氏 [呉高等学校 主査（学芸員）]
「谷口富美枝（仙花）その画業と人生」

＜日時＞
2025年11月8日（土）
13：30～17：00（予定）

木村拓也 氏 [大田区立龍子記念館 副館長]
「青龍社の女性画家たち 小島鼎子を中心に」

※ 詳細は当館 HP をご覧ください。

予約不要
参加無料

【アクセス】

JR／東京メトロ／東急／京王「渋谷駅」東口から徒歩約10分
東京メトロ「表参道駅」B1出口から徒歩約12分

※当館は、実践女子大学渋谷キャンパスの1階ロビー奥に位置します。駐車場・駐輪場はありません。ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。また、六本木通り沿いにある正面入口右手の警備室へ入館の旨をお伝えください。

※やむを得ず会期や開館時間等を変更する場合がございます。最新情報は当館ホームページをご確認ください。

〒150-8538 東京都渋谷区東1-1-49

実践女子大学渋谷キャンパス 1階

HP <https://www.jissen.ac.jp/kosetsu/>



実践女子大学香雪記念資料館

Kosetsu Memorial Museum Jissen Women's University